

電気通信普及財団賞(第 33 回)及び平成 29 年度における助成援助案件の決定

公益財団法人電気通信普及財団(理事長 中山 進)は、平成 29 年度における「電気通信普及財団賞(第 33 回)」の受賞の著作・論文を決定するとともに、研究調査助成及びネット社会対応援助等の助成援助案件を決定し、3 月 22 日、財団賞及び助成援助金贈呈式を行いました。

電気通信普及財団賞においては、テレコム社会科学賞、テレコムシステム技術賞など 20 件の著作・論文の受賞を決定しました。

研究調査助成においては、平成 30 年度に実施する 145 件、1 億 62 百万円の助成を行います。

国際交流人材育成援助、ネット社会課題対応援助(*)、シンポジウム・セミナー等開催援助(11 月期)においては、13 件、13 百万円の援助を行います。

記

1 第 33 回電気通信普及財団賞

- | | |
|-------------------|------------------------|
| (1) テレコム社会科学賞 | 入賞 なし、奨励賞 4 件 |
| (2) テレコムシステム技術賞 | 入賞 3 件、奨励賞 5 件 |
| (3) テレコム社会科学学生賞 | 入賞 なし、佳作 1 件 |
| (4) テレコムシステム技術学生賞 | 最優秀賞 1 件、入賞 4 件、佳作 2 件 |

2 平成 29 年度調査研究助成

- | | | |
|--------------|-------|---------|
| (1) 社会科学分野 | 52 件 | 52 百万円 |
| (2) 技術分野 | 60 件 | 72 百万円 |
| (3) 両分野に跨る分野 | 33 件 | 37 百万円 |
| 計 | 145 件 | 162 百万円 |

3 平成 29 年度援助関係

- | | | |
|-----------------------------|------|--------|
| (1) 国際交流人材育成援助 | 2 件 | 4 百万円 |
| (2) ネット社会課題対応援助 | 2 件 | 4 百万円 |
| (3) シンポジウム・セミナー等開催援助(11 月期) | 13 件 | 13 百万円 |

受賞及び助成援助の具体的内容は別紙を参照願います。

報道用資料

* : ネット社会課題対応援助は、情報通信の普及、利活用の振興を図る視点から、利用者の情報リテラシー、スキルの向上をはじめとする情報社会の進展に伴い生じている社会的な課題に取り組まれている非営利の活動や、地域や社会の課題の解決に貢献するため、オープンデータを活用するなど社会的な課題への対応に情報通信の利用を適切に組み合わせ、その取組の効果を高めようとする非営利の活動を支援するため、これらを実施する非営利団体(NPO等)に対して援助で、今年度から新たに実施するものです。

連絡先

公益財団法人電気通信普及財団

電話 : 03-3580-3411

事業部長 中川 一郎

URL : <http://www.taf.or.jp>

第 33 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコム社会科学賞～

＜順不同、敬称略＞

※受賞者の所属は応募時のものです。

奨励賞
<p>「ネット炎上の研究」 （書籍発刊：勁草書房，2016年4月）</p> <p>田中 辰雄 慶應義塾大学経済学部 准教授 山口 真一 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 講師</p> <p>本書で取り上げた「ネット炎上」はインターネット社会で生まれ、時代の転換点において避けて通ることのできない歴史的現象である。本書は、一般に話題となっているこの新たな社会的問題を取り上げ、提示されるひとつひとつのファクトをデータ解析することにより論理的に説明されている。この点は高く評価される。加えてネット炎上は「力の濫用」であり、濫用を乗り越えるための具体的な方策も加えた力作である。</p>
奨励賞
<p>「情報倫理—技術・プライバシー・著作権」 （書籍発刊：みすず書房，2017年4月）</p> <p>大谷 卓史 吉備国際大学アニメーション文化学部 准教授</p> <p>本書は、情報社会が生み出した諸問題、具体的にはサブタイトルにあるような技術、プライバシー、著作権などに関わる多くの問題について、豊富な事例に基づいて論点整理を行い、倫理的な側面にまで切り込んで議論している労作である。その内容は多岐にわたり大変興味深いと同時に、解説も明瞭である。今後は、著者の言う単なる「解説付実況中継」だけではなく、その体系化と同時に、情報倫理の視点からのより深い考察が行われることを期待したい。</p>
奨励賞
<p>「EU とドイツの情報通信法制—技術発展に即応した規制と制度の展開」 （書籍発刊：勁草書房，2017年1月）</p> <p>寺田 麻佑 国際基督教大学教養学部 准教授</p> <p>ドイツおよびEUの情報通信法制・政策の枠組みを詳細に分析し、紹介している点はこれまで類書がない分野であり、高く評価できる。ただし膨大な注は、なお未消化の部分を残していることを示唆している。共同規制など、後半での日本の情報通信法制へのインプリケーションも十分に展開しきれていないため、今後の一層の研究が待たれる。</p>
奨励賞
<p>「現代情報社会におけるプライバシー・個人情報の保護」 （書籍発刊：日本評論社，2017年9月）</p> <p>村上 康二郎 東京工科大学教養学環 准教授</p> <p>第一部は、情報プライバシー権についての日米の諸理論を、プロパティ・ライツ論を含め詳細に論じており、ドグマティックな展開をうまく解題している点で高く評価できる。第二部は、現代的諸課題をそれぞれ20～30頁で紹介し、分析しており、やや皮相的である。例えば、匿名加工情報とプロパティ・ライツ論との関わりなどについて、より詳細に論じて欲しい。</p>

第 33 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコム社会科学学生賞～

<順不同、敬称略>

※受賞者の所属は応募時のものです。

佳作

「我が国の DMCA テイクダウンノーティスの利用実態と問題点」

(論文発表：情報通信学会誌 第 34 巻 2 号, 2016 年 9 月)

安岡 規貴

米国のデジタルミレニアム著作権法 (DMCA) に基づく Google に対する削除リクエストは近年、大幅に増加している。サイトオーナーにとっては Google のような検索エンジンから除外される影響は多大であるが、そのリクエスト自体の濫用、不正利用も報告されている。本論文では、日本における削除リクエスト利用の実態を Google の透明性レポートおよび Lumen のデータ分析から明らかにしている。その利用実態の解明プロセスは、明解、緻密である。考察部分が一般的ではあるが、テレコム社会科学学生賞佳作としての評価に値する論文である。

第 33 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコムシステム技術賞～

＜順不同、敬称略＞

※受賞者の所属は応募時のものです。

入賞

「Generic decoding of seen and imagined objects using hierarchical visual features」

（論文発表：Nature Communications, 2017年5月）

堀川 友慈 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所
脳情報研究所 神経情報学研究室 主任研究員

神谷 之康 京都大学大学院情報学研究科 教授
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所
脳情報研究所 神経情報学研究室 客員室長

本研究では、ヒトの脳活動パターンを畳み込み、ニューラルネットワーク等の人工知能モデルの信号に変換し、見ている物体画像や想像している物体を脳から解読する技術の開発に成功した。具体的には、ある画像を見ている時の脳活動パターンとその画像を入力したニューラルネットワークで得られるパターンの間に、相同性を世界で初めて発見している。その結果、未学習の任意の物体を推定する可能性を示しており、きわめて優秀な研究であると評価した。

入賞

「Automatic verification technology of software patches for user virtual environments on IaaS cloud」

（論文発表：Springer, Journal of Cloud Computing, 2015年2月）

山登 庸次 日本電信電話株式会社 ネットワークサービスシステム研究所 主任研究員

本論文は、クラウド事業者がユーザの仮想マシンに対するパッチの正常性確認を行うという新しい試みを提案している。運用コストの削減を定量的に示しており、近年のクラウドサービスの普及を考えると実用化論文としての価値は高い。本技術が実用化されることへの期待を込めて、テレコムシステム技術賞にふさわしいと評価する。

入賞

「Design Framework of Image Sensor System Based on Dynamic Range Extension by Adding Noise for Saturated Conditions」

(論文発表：IEEE, IEEE Transactions on Systems, Man, and Cybernetics: Systems, 2015年10月)

田所 幸浩	株式会社豊田中央研究所 主任研究員
葛西 誠也	北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター／大学院情報科学研究科 教授
一木 輝久	名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授
田中 宏哉	株式会社豊田中央研究所 研究員

本論文では、イメージセンサにおいて被写体の認識を困難にするハレーションを克服する技術として、確率共鳴現象に着目し、光検出器 (PD: photodetector) の駆動電圧に雑音を印加することによって、微弱信号の検出性能を改善する方法を提案している。実証機を用いた実験によりダイナミックレンジの拡大を確認するとともに、最適な雑音電力を設計する手法を確立している。IoT (Internet of Things) や ITS (Intelligent Transport System) 分野において、有効かつ価値ある研究成果であると判断される。

奨励賞

「Iterative Frequency-Domain Joint Channel Estimation and Data Detection of Faster-Than-Nyquist Signaling」

(論文発表：IEEE, IEEE Transactions on Wireless Communications, 2017年9月)

石原 拓実	東京農工大学大学院工学府電子情報工学専攻 博士後期課程1年
杉浦 慎哉	東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門 准教授

本論文では、ナイキスト間隔の信号伝送速度を超える faster-than-Nyquist signaling (FTNS) と呼ばれるコンセプトの実用化への道を追求すべく、軟判定周波数領域等化アルゴリズム、FTN パイロットに基づく周波数領域伝搬路推定アルゴリズムなどを考案し、それらを組み合わせた方式を提案している。コンピュータシミュレーションによる特性評価の結果として、完全な伝搬路推定時の特性に漸近しつつ、オーバーヘッドの削減が可能なことを定量的に明らかにしている。近年の信号処理技術の急速な発展を活用したアルゴリズムの提案など評価できる点は多い。

奨励賞

「Spatial Cepstrum as a Spatial Feature Using Distributed Microphone Array for Acoustic Scene Analysis」

(論文発表：IEEE, IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing, 2017年6月)

井本 桂右	立命館大学情報理工学部メディア情報学科 助教
小野 順貴	首都大学東京システムデザイン学部情報通信システムコース 教授

本論文では、移動物体のような位置情報が不明かつ時間同期が完全でない情報源から音響シーンを分類するため、空間ケプトラムという新たな特徴量を用いた分散マイクアレイに適用可能な空間特徴抽出法を提案しており、論文としてのレベルは高い。この制約条件の大きな緩和は、実用上大変価値が高いと考えられ、高く評価できる。

奨励賞

「Differential Private Data Collection and Analysis Based on Randomized Multiple Dummies for Untrusted Mobile Crowdsensing」

(論文発表：IEEE, IEEE Transactions on Information Forensics and Security, 2017年4月)

清 雄一 電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻 准教授
 大須賀 昭彦 電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻 教授

本論文では、スマートフォンやインターネット上の機器を通じた情報収集(クラウドセンシング)での個人情報秘匿のため、確率的に発生させたダミーデータを付加して秘匿性を高めた通信手法を提案している。さらに、匿名性によって生じる誤差の削減にも成功した。近年きわめて重要なトピックスであり、オリジナリティも高く実験のレベルも社会的なインパクトも高く評価できる論文である。

奨励賞

「Determined Blind Source Separation Unifying Independent Vector Analysis and Nonnegative Matrix Factorization」

(論文発表：IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing, 2016年9月)

北村 大地 東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 特任助教
 小野 順貴 首都大学東京システムデザイン学部情報通信システムコース 教授
 澤田 宏 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 部長
 亀岡 弘和 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員
 国立情報学研究所 客員准教授
 猿渡 洋 東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 教授

複数音源が混合して観測された音響信号から、音源信号の情報、音源やマイクの設置位置等の事前情報なしで音源を分離する確定ブラインド音源分離について、新しい手法を提案し、この手法が従来の方法に比べて処理時間、推定精度等の面で優れた特性を持つことを示している。この技術は補聴器の特性向上、会議の話者毎の自動アーカイブ等への応用も期待でき、高く評価される。

奨励賞

「Sensation of Realness From High-Resolution Images of Real Objects」

(論文発表：IEEE, IEEE Transactions on Broadcasting, 2013年3月)

正岡 顕一郎 日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 主任研究員
 西田 幸博 日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 研究主幹
 菅原 正幸 日本電気株式会社 放送・メディア事業部 主席技師長
 中須 英輔 一般財団法人NHK エンジニアリングシステム先端開発研究部 部長
 野尻 裕司 株式会社NHK アイテック 映像・情報ビジネス部門 システム技術部
 エグゼクティブエンジニア

本論文では、高精細のテレビジョンシステムで提示される映像がどれだけ実物に近いかという課題を、実物に近く見える尺度である「実物感」を測定するという実験により明らかにしている。この結果、角解像度を増した場合に60cpd近くまで「実物感」が向上することを示し、今後放送が開始される予定の8K映像システムの意義を明らかにしており、高く評価される。

第 33 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコムシステム技術学生賞～

<順不同、敬称略>

※受賞者の所属は応募時のものです。

最優秀賞

「A Hardware-Trojan Classification Method Using Machine Learning at Gate-Level Netlists Based on Trojan Features」

(論文発表：IEICE, IEICE TRANSACTIONS on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, 2017 年 7 月)

長谷川 健人 早稲田大学大学院基幹理工学研究科 博士後期課程 1 年

共著者：柳澤 政生、戸川 望

本論文では、ハードウェアに組み込まれた悪意のある機能「ハードウェアトロイ」の検出手法を提案している。具体的にはトロイネットの特徴を表す 5 つの特徴量を求め、機械学習で感染しているか否かを識別する手法を提案して、最新のハードウェアトロイの識別方法と同等以上の結果が得られることを明らかにしている。機械学習適用面での学生の貢献は大きいと判断され、テレコムシステム技術学生賞最優秀賞にふさわしいと判断される。

入賞

「Multilevel NoSQL Cache Combining In-NIC and In-Kernel Approaches」

(論文発表：IEEE, IEEE Micro, 2017 年 10 月)

徳差 雄太 慶應義塾大学大学院理工学研究科 後期博士課程 2 年

共著者 松谷 宏紀

本論文では、データセンターにおける Key-value Store の電力効率を改善する、マルチレベル NoSQL 階層化手法を提案し、FPGA によるハードと Linux へのソフトの実装により検証している。推薦状で本人の貢献を明確に高く評価していること、多数の外部発表の実績から学生の貢献は大きいと判断した。実用的で良い研究であり、テレコムシステム技術学生賞にふさわしいと評価される。

入賞

「Novel Method to Watermark Anonymized Data for Data Publishing」

(論文発表：IEICE, IEICE TRANSACTIONS on Information and Systems, 2017 年 8 月)

中村 優一 慶應義塾大学大学院理工学研究科 後期博士課程 2 年

共著者 中塚 義道、西 宏章

匿名加工した個人情報データに関して、無断再配布へ対応するために電子透かしを埋め込む手法を新しく設計した。本論文では、カウンターモードの共通鍵ブロック暗号とターボ符号を用いて電子透かしシステムを構成し、さらに実際に実験的に評価している。本受賞者は論文誌といったアカデミックな活動が顕著であると同時に、標準化での採用といった実学や社会インパクトが大きいことも評価した。今後の活躍を期待したい。

入賞

「Statistical Parametric Speech Synthesis Incorporating Generative Adversarial Networks」

(論文発表：IEEE, IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing)

齋藤 佑樹 東京大学大学院情報理工学系研究科 博士前期課程 2年

共著者 高道 慎之介、猿渡 洋

音声合成において、合成した人工音声と自然音声の違いが重要な問題になっている。本論文では、ニューラルネットワークの敵対的学習 (GAN) の枠組みを導入して、合成音声と自然音声の識別器が区別できないよう合成音声の品質改善を行う手法を提案している。推薦者によるとこれらの提案は学生の貢献が大きく、テレコムシステム技術学生賞にふさわしいと判断される。

入賞

「Convex Optimization-Based Signal Detection for Massive Overloaded MIMO Systems」

(論文発表：IEEE, IEEE Transactions on Wireless Communications, 2017年11月)

早川 諒 京都大学大学院情報学研究科 博士後期課程 1年

共著者 林 和則

本論文では、受信アンテナ数が送信ストリーム数よりも少ない過負荷 MIMO (Multiple Input Multiple Output) における信号検出を、SOVA (Sum-of-Absolute-Value) 最適化問題として定式化した後、さらに W-SOVA (Weighted-SOVA) 最適化問題に拡張し、凸最適化を利用して解く方法を提案している。コンピュータシミュレーションの結果、他の信号検出方法と比較して、ビット誤り率と計算時間の両面において優れていることを定量的に明らかにしている。推薦者によれば本論文の要は本受賞者のアイデアによるとのことであり、テレコムシステム技術学生賞にふさわしいと評価される。

佳作

「Fast Algorithm and VLSI Architecture of Rate Distortion Optimization in H. 265/HEVC」

(論文発表：IEEE, IEEE Transactions on Multimedia, 2017年11月)

孫 鶴鳴 日本電気株式会社 中央研究所 研究員

共著者 周 大江、胡 蘭丹、木村 晋二、後藤 敏

本論文では、HEVC におけるレート歪み最適化の計算量の低減に関して、高速アルゴリズムと VLSI アーキテクチャを提案している。8K ビデオのリアルタイムエンコーディングを可能としたのは実用的にも意義が大きい。論文の執筆者数は5名と多いが、指導教員からのコメントにより、本論文に対する受賞者の貢献は大きいと判断した。

佳作

「Joint Transmission and Coding Scheme for High-Resolution Video Streams over Multiuser MIMO-OFDM Systems」

(論文発表：IEICE, IEICE TRANSACTIONS on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, 2017年11月)

田代 晃司 九州工業大学大学院情報工学府 博士後期課程2年

共著者 Leonardo Lanante、黒崎 正行、尾知 博

本論文では、MU-MIMO (Multi User - Multiple Input Multiple Output) システムにおいて、個々のユーザ対応のブロック対角化後の固有ビーム伝送をスケーラブル符号化と組み合わせる方法を提案し、特性評価により通信品質の改善を確認している。推薦者によれば、主幹のアイデア、コンピュータシミュレーションによる特性評価などは本受賞者のアイデアによるものであるとのことであり、テレコムシステム技術学生賞にふさわしいと評価される。

電気通信普及財団助成援助金贈呈式平成 29 年度助成援助

区分	件数	金額(千円)	ページ
研究調査助成	145	161,791	
社会科学分野	52	52,325	2
技術分野	60	72,334	8
両分野に跨る分野	33	37,132	14
国際交流人材育成援助	2	3,890	18
ネット社会課題対応援助	2	4,000	19
シンポジウム・セミナー等開催援助	13	13,523	
シンポジウム・セミナー(社会)	5	5,200	20
シンポジウム・セミナー(学術)	8	8,323	21
特別講義開設援助	7	6,142	22

*リストに掲載されている所属は申込時のものです。

平成29年度研究調査助成 社会科学分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
東京大学 こころの多様性と適応の統合的研究機構 助教 明地 洋典	注視データ情報量からの自閉症予測(延長)	1,100
大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 渥美 公秀	コミュニティFM番組作成と復興・防災(延長)	990
昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科 専任講師 天笠 邦一	つながり形成におけるSNSの役割の地域差	1,100
東京交通短期大学 運輸科 専任講師 天野 美穂子	電車内における情報行動と車内広告の効果	1,500
秀明大学 総合経営学部企業経営学科 教授 荒井 弘毅	ネット中立性と米国反トラスト法の研究調査	800
立命館大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 大学院博士課程生 有吉 純基	食の情報イノベーション(延長)	1,127
国際医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 准教授 安部 和彦	国際的な租税回避行為への対抗手段としての個人番号制度の意義と課題	600
相模女子大学 学芸学部メディア情報学科 講師 池下 花恵	保育におけるデジタルメディアの活用モデル	1,139
筑波大学 システム情報系社会工学域 准教授 石井 健一	ワールドインターネットプロジェクト研究	1,480
政策研究大学院大学 政策研究科政策専攻 博士課程後期1年 江上 弘幸	モバイルマネーのマッチングファンド実験	2,000

平成29年度研究調査助成 社会科学分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
関西大学 総合情報学部 教授 岡田 朋之	ポスト・モバイル社会における参加型メディアデザインの可能性の検討	750
愛知県立大学 情報科学部 教授 奥田 隆史	光海底ケーブル敷設と太平洋島嶼国の情報化	876
日本女子大学 人間社会学部現代社会学科 教授 尾中 文哉	近現代日本における女性とキャリアに関する社会調査データアーカイブ構築にもとづく比較社会学的研究	479
群馬県立女子大学 文学部・総合教養学科 講師 歸山 亜紀	がん闘病ブログの計量テキスト分析	1,192
青山学院大学 社会情報学部附置社会情報学研究センター 特別研究員 勝谷 紀子	健康・医療情報に対する情報リテラシー	1,000
札幌大学 地域共創学群法学専攻 教授 上机 美穂	口コミサイトをめぐる不法行為法上の諸問題	1,100
名古屋大学 大学院法学研究科 学術研究員 川島 佑介	日本における危機情報管理システム(CIMS)の普及と活用に関する研究	538
早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育学部 社会科 社会科学専修 助手 北嶋 健治	非行少年のネット利用と逸脱視のメカニズム	595
東京経済大学 コミュニケーション学部 准教授 北村 智	モバイル動画視聴の効用に関する探索的研究	1,878
仙台高等専門学校 総合工学科 准教授 小地沢 将之	災害孤立集落駆付け支援時のSNS活用(延長)	865

平成29年度研究調査助成 社会科学分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
慶應義塾大学 法学部 教授 小林 良彰	面接調査に代替しうるインターネット調査方法の開発—インターネット調査・面接調査・郵送調査の比較研究—	750
日本大学 危機管理学部 教授 小向 太郎	コンピュータ集積情報の捜査とプライバシー	1,050
龍谷大学 社会学部 教授 佐藤 彰男	テレワークの実態をめぐる実証的研究	982
信州大学 人文学部 准教授 佐藤 広英	青年期におけるSNS利用時の対人ストレス過程に関する研究——精神的健康・学校適応との関連——	494
立教大学 社会デザイン研究所 研究員 真田 尚剛	Jアラートによる緊急時の情報伝達	690
関西学院大学 理工学研究科 博士研究員 杉本 匡史	便利すぎるIT技術、スマホ地図は「なぜ」空間認知能力を低下させるのか？	655
早稲田大学 文学学術院 教授 高橋 利枝	AI及びIoTに関する日米国際比較研究	1,532
兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 竹内 和雄	子どものネット問題対策研究(延長)	1,500
東海大学 現代教養センター 講師 田島 祥	災害時SNS情報の拡散行動に関する調査	1,146
名古屋大学 教育発達科学研究科 大学院生 玉井 颯一	オンラインの対人関係と心の痛みの緩和	1,377

平成29年度研究調査助成 社会科学分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
岡山理科大学 経営学部経営学科 講師 張 婧	顧客との価値共創とキャッシュレス化の影響	1,200
東京大学 情報学環 特任助教 趙 章恩	サイバーセキュリティコミュニケ～(延長)	520
法政大学 社会学部 准教授 土橋 臣吾	ソーシャルメディア環境におけるニュース受容の実態解明とミドルメディアの再デザイン	566
関西大学 社会学部・社会学科・メディア専攻 教授 富田 英典	モバイルメディアと空間・時間の感覚変容	1,500
横浜市立大学 国際総合科学部 教授 中村 彰宏	消費者評価競争と既存規制の代替性の検討	1,170
九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 准教授 錦谷 まりこ	別居家族の無料通話サービス利用状況と健康	1,500
東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 教職センター 講師 二宮 祐子	なぜ保育現場のICT化は進まないのか？	706
摂南大学 経営学部経営情報学科 准教授 針尾 大嗣	SNS上の発生リスクとデータリンク構造	1,376
北海学園大学 大学院 法務研究科 教授 稗貴 俊文	ICT・AIプラットフォームの競争問題	1,200
新潟大学 農学部農学科(食料・資源経済学分野) 准教授 平泉 光一	農産物をネットで購入する消費者の動機解明	1,100

平成29年度研究調査助成 社会科学分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
立教大学 大学院ビジネスデザイン研究科 特任准教授 深見 嘉明	標準化を通じたイノベーション戦略に関する研究 ～スマートコミュニティに対応したエコシステム形成手法～	500
大阪大学 大学院法学研究科 教授 福田 雅樹	卸電気通信役務の提供に関する制度の研究	600
金沢大学 人間社会研究域 教授 藤澤 美恵子	ネット上の不動産取引における情報表示方法に関する研究	650
新潟国際情報大学 情報文化学部 准教授 藤田 美幸	デジタルとアナログを融合させたハイブリッドまちあるきの研究	469
同志社大学 法学部 教授 船津 浩司	取引の電子化・高速化による市場および取引仲介者の役割の変容と法制度	500
慶應義塾大学 先導研究センター 常勤研究員 松崎 敦子	アプリを用いた子育て遠隔支援のためのTelehealthシステムの開発と評価	806
中央大学 文学部人文社会学科社会情報学専攻 教授 松田 美佐	global社会における若者のsocial media利用	737
信州大学 経法学部 准教授 丸橋 昌太郎	暗号解除法制に関する法学的研究	1,410
筑波大学 医学医療系 准教授 水野 智美	スマホ使用が幼児の言語発達に及ぼす影響	900
清泉女子大学 文学部地球市民学科 准教授 山本 達也	民主主義の脱定着と情報通信技術の関係性	500

平成29年度研究調査助成 社会科学分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 講師 横田 文彦	遠隔予防医療サービスの実行可能性調査	1,800
東邦大学 医学部・解剖学講座・微細形態学分野 助教 吉田 さちね	抱っこ時の乳児の生体反応センシング	1,330
52 件		52,325 千円

平成29年度研究調査助成 技術分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科 助教 相川 洋平	光比較演算を用いた光パケット処理デバイス	920
電気通信大学 先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター 准教授 安達 宏一	機械学習を用いる環境適応型基地局動作法	1,000
名古屋工業大学 大学院工学研究科 電気・機械工学専攻 助教 安在 大祐	インプラント機器の高精度位置・方向推定	2,000
小山工業高等専門学校 電気電子創造工学科 講師 飯島 洋祐	OFDM適応VLSIシステム内超高速伝送	719
情報通信研究機構 電磁波研究所 研究員 石田 開	LED照明の医療機関への安全な導入のための電磁環境および医療機器への影響の調査	660
名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授 石橋 豊	複数ロボット間の協調作業のための時間的及び空間的同期制御に関する研究	750
横浜国立大学 大学院 工学研究院 准教授 市毛 弘一	拡張アレー処理を用いた高分解能レーダ技術	1,500
秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 電気・電子・情報系 准教授 伊藤 桂一	アンテナ用高機能誘電体レンズの開発と応用	1,500
近畿大学 産業理工学部 電気電子工学科 准教授 今宿 互	非線形伝送符号化を用いた光伝送方式の研究	1,000
大阪府立大学 大学院工学研究科・知能情報工学分野 准教授 岩村 雅一	視覚障害者の写真撮影支援システム	1,500

平成29年度研究調査助成 技術分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
明星大学 情報学部 情報学科 准教授 植木 一也	大規模映像検索のための潜在的な概念抽出技術	1,138
茨城大学 工学部 助教 王 瀟岩	クラウドソーシングを活用した周波数データベースに関する研究	750
沼津工業高等専門学校 制御情報工学科 助教 金子 裕哉	既設光回線を利用するGNSS信号の中継	1,000
愛知県立大学 情報科学部情報科学科 准教授 神谷 幸宏	牛の終夜非接触モニタリングシステムの構築	765
福井工業高等専門学校 電子情報工学科 講師 川上 由紀	MHz～THz帯の遮蔽物内での伝送特性の解明	2,000
奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教 川原 純	リンク故障の依存関係を考慮した信頼性評価	950
中部大学 工学部・電子情報工学科 教授 河原 敏男	ウイルス監視ネットワークシステム(延長)	3,000
仙台高等専門学校 総合工学科 H1ユニット 助教 衣川 昌宏	AI/IoT社会を守る電磁波セキュリティの開拓	3,000
龍谷大学 理工学部 電子情報学科 教授 木村 睦	脳型集積システムのためのGTOメモリスタ	1,500
九州工業大学 大学院情報工学研究院 准教授 黒崎 正行	無線動画伝送システムのモデルベース設計	1,960

平成29年度研究調査助成 技術分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
九州工業大学 大学院情報工学研究院情報創成工学研究系 准教授 光来 健一	Intel SGXを用いるアプリケーションの移送	2,000
岡山大学 大学院自然科学研究科 准教授 後藤 佑介	空間ネットワーク環境における問合せ処理法	1,000
大阪府立大学大学院 工学研究科・電気情報システム工学分野 教授 小西 啓治	通信遅延が伴うネットワークのダイナミクス	1,200
国立大学法人 長崎大学 大学院工学研究科・電気情報科学部門 教授 小林 透	会話型ロボットによる脳卒中予兆検知の研究	2,890
筑波大学 システム情報系 准教授 蔡 東生	3Dコスミックトモグラフィを用いた衛星観測	1,500
名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授 榑原 久二男	メタマテリアル周期構造の電磁波反射・透過係数制御技術を用いた無線装置ケースの透明化に関する研究	540
香川大学 工学部・知能機械システム工学科 講師 佐藤 敬子	高齢者の視覚的注意特性の解明とモデル化	1,200
関西大学 システム理工学部電気電子情報工学科 助教 佐藤 伸吾	半導体製造における配線劣化現象解明の研究	600
奈良先端科学技術大学院大学 准教授 柴田 直樹	スマートシティのための電気自動車利用スケジューリング	250
北見工業大学 地球環境工学科 教授 柴田 浩行	高S/N比超伝導単一光子検出器の開発(延長)	1,000

平成29年度研究調査助成 技術分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
立命館大学 理工学研究科 教授 ジュゼッペ アブレウ	第5世代移動体通信システムにおけるIoTのための先端全2重通信技術の研究	750
東京農工大学 大学院工学研究院 准教授 杉浦 慎哉	高セキュリティと低オーバーヘッドを実現するIoT物理レイヤセキュリティ	600
岡山大学 大学院自然科学研究科 助教 田上 周路	交流磁界の光学投影による三次元情報取得	2,000
高知大学 教育研究部自然科学系理学部門 教授 高田 直樹	時空間分割方式電子ホログラフィの研究	900
神戸大学 大学院工学研究科 助教 高野 泰洋	物理層セキュリティに注目した準情報理論的安全な第5世代移動通信システム	400
玉川大学 量子情報科学研究所 准教授 谷澤 健	デジタルコヒーレント方式物理暗号光通信	1,800
電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授 策力 木格	車両IoT向け自己進化型分散トラスト管理	1,454
九州工業大学 大学院 情報工学研究院 准教授 塚本 和也	次世代無線NWのためのグローバル連携制御	1,490
埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授 辻 俊明	触覚情報利活用のための運動データ圧縮技術	1,936
東京工業大学 工学院電気電子系 特任助教 戸村 崇	ミリ波アンテナの不要放射低減に関する研究	1,500

平成29年度研究調査助成 技術分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
早稲田大学 基幹理工学部 教授 中里 秀則	映像情報の同期によるネットワーク内一時記憶の消滅に関する研究	730
明石工業高等専門学校 電気情報工学科 准教授 成枝 秀介	複数アンテナでの周期定常性検出の低演算化	2,003
筑波大学 システム情報系 准教授 西出 隆志	暗号に基づくワンタイムプログラムの実現	1,130
富山大学 理工学研究部(工学) 特命助教 長谷川 昌也	超精度解析による医用画像の高精細化技術	1,100
九州大学大学院 芸術工学研究院・コミュニケーションデザイン科学部門 准教授 原 健二	全天周画像からの要約動画生成に関する研究	1,000
防衛大学校 理工学研究科電子情報工学専攻 博士後期学生 福島 崇嗣	メタマテリアルを使ったスリーブアンテナ	667
東京農工大学 大学院工学研究院 准教授 藤波 香織	利用者の積極的な関わりによる携帯機器の帯同場所認識機能の個人化	500
東海大学 理学部情報数理学科 講師 藤ノ木 健介	点列データの相関を利用した効率的な情報圧縮法の開発	750
愛媛大学 大学院理工学研究科 助教 藤橋 卓也	高イマーシブマルチビュー伝送に関する研究	1,000
神戸大学大学院 工学研究科電気電子工学専攻 博士課程後期課程3年 双見 京介	アイケア用ウェアラブルシステムの開発	1,104

平成29年度研究調査助成 技術分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
福井工業高等専門学校 電気電子工学科 助教 堀川 隼世	中赤外光検出器用ナノアンテナ材料の研究	1,260
三重大学 大学院工学研究科 准教授 松井 龍之助	プリントドエレクトロニクスによるテラヘルツメタデバイスの開発	990
香川大学 工学部・電子・情報工学科 助教 松岡 諒	映り込み除去技術の確立と画像認識への応用	1,000
山口大学 大学院理工学研究科 准教授 松元 隆博	水中光無線通信方式の多段中継による大容量化に関する研究	465
鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 社会経営 工学講座 助教 南野 友香	2変量ソフトウェア信頼度成長モデルの開発	850
関西学院大学 理工学部 研究特別任期制助教 山崎 陽一	新しい触覚提示技術の提案とその定量評価	1,023
和歌山大学 システム工学部 准教授 吉廣 卓哉	無線メッシュ網におけるチャンネル割当法	940
静岡大学 工学部機械工学科 教授 李 洪譜	螺旋状回折格子によるOAM光通信への応用	1,500
九州工業大学 工学部 助教 陸 慧敏	悪環境下での調査・状況確認活動を支援する目標可視化技術の研究開発	500
東京都立産業技術研究センター 開発本部開発第一部電気電子技術グループ 副主任研究員 渡部 雄太	ミリ波帯チップレスRFIDタグの開発	1,200

60 件 72,334 千円

平成29年度研究調査助成 両分野に跨る分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
群馬大学 教育学部理科教育講座 講師 青木 悠樹	マーカレス拡張現実を共有した科学教育	630
九州工業大学 大学院情報工学研究院 知能情報工学研究系 助教 秋元 泰介	AI と人々による物語共創システムのプロトタイプ構築	400
茨城大学 工学部 講師 石田 智行	高臨場感伝統工芸システムに関する研究	1,400
群馬大学 社会情報学部 教授 岩井 淳	評価情報流出の根源的自動防止と相関分析	960
静岡大学 大学院総合科学技術研究科 教授 大島 律子	協調的な学びに対する知識やスキルを自動診断するシステムの開発	620
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 教授 小方 孝	発達障害の大学生のための物語生成に基づく発想支援システム—現場における学生 - カウンセラー - 教員の語り合いを通じて—	500
北海道大学 大学院情報科学研究科情報理工学専攻 准教授 小山 聡	人間とAIの協働による作業品質制御の研究	900
九州大学 大学院システム情報科学研究院・情報エレクトロニクス部門 准教授 金谷 晴一	無給電インフラ監視センサプラットフォーム	2,700
名古屋工業大学 工学研究科 特任准教授 河瀬 諭	マルチエージェント・システムによるオーケストラ・シミュレーション —人と人工知能の創造的協働を目指して—	688
山梨英和大学 人間文化学部 助教 後藤 晶	オンライン上におけるゲーム実験環境の開発	1,857

平成29年度研究調査助成 両分野に跨る分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
東京大学 空間情報科学研究センター 准教授 小林 博樹	動物装着型マイク網による高線量空間可視化	1,500
東北大学 電気通信研究所 助教 笹井 一人	サービスの擬人化に基づくネットワーク管理	990
室蘭工業大学 しくみ情報系領域 助教 柴田 傑	楽器演奏における身体動作と音データの同時計測と解析手法の開発	500
宮城大学 看護学群 助教 霜山 真	双方向型遠隔看護システムの開発(延長)	2,460
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 准教授 高木 正則	農作業と鳥獣の自動記録・自動判別システム	1,500
名古屋工業大学 大学院工学研究科 助教 立岩 佑一郎	セキュリティの仕組み理解への演習の開発	1,000
北海道大学 大学院情報科学研究科 教授 館野 高	ヒアリンググループを利用した難聴者支援	1,200
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 教授 土井 章男	深層学習による整形外科手術の診断技術獲得	1,200
筑波大学 大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 博士後期課程 董 然	人と操り人形のインタラクション	1,500
東海大学 医学部・救命救急医学 教授 中島 功	無線トークンリングによる鳥鳥通信の実装	1,605

平成29年度研究調査助成 両分野に跨る分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科 准教授 中西 英之	遠隔物体共有と存在感伝達の関連性の研究	1,667
北海道大学 大学院医学研究科 教授 西浦 博	輸入感染症のリスク予測システムの開発と実装研究	600
筑波大学 システム情報系 助教 橋本 悠希	漆文化に根ざした電子情報機器の社会実装に関する研究	500
東海大学 政治経済学部経済学科 講師 林 良平	遠隔地相互作用経済実験システムの開発	1,450
国立国語研究所 特別研究員 林 由華	「何もしなければ」消滅してしまう琉球のことばを、記録、共有して、継承するために	750
神奈川大学 理学部・情報科学科 准教授 BOSSARD Antoine	制限のない日本語文字表現手法の有用性証明	775
東京電機大学 システムデザイン工学部 教授 前田 英作	胎児心拍陣痛図の自動解析とNW・BD化	2,000
沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科 助教 宮城 桂	歌三線における技能の伝承法に関する研究	1,500
尚絅大学 文化言語学部 准教授 山川 仁子	外国語の拡声音声による情報伝達に関する基礎調査	750
新潟大学 大学院自然科学研究科 教授 山崎 達也	介護施設向け認知機能訓練プログラムの研究	1,034

平成29年度研究調査助成 両分野に跨る分野

申込者	研究調査テーマ	助成金額 (千円)
岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科 博士後期課程 山下 圏	協調作曲における認知過程の分析	500
滋賀県立大学 環境科学部環境政策・計画学科 准教授 和田 有朗	携帯情報端末を活用した消費者の環境配慮行動促進のためのエネルギーリテラシー教育手法の開発	296
国立大学法人鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科 教授 綿引 勝美	体育指導とセンシング情報の解析・応用研究	1,200

33 件 37,132 千円

平成29年度国際交流人材育成

申込者	事業の名称	援助金額 (千円)
NPO法人国際応用情報学研究機構 理事長 松尾 徳朗	東南アジア地域情報通信技術高度人材 育成プログラム	1,890
九州大学 大学院システム情報科学研究所長 荒木 啓二郎	バングラデシュにおける「eヘルスワ ーカー」育成のためのトレーニング事業	2,000

2件

3,890 千円

平成29年度ネット社会課題対応援助

申込者	事業の名称	援助金額 (千円)
認定NPO法人育て上げネット 理事長 工藤 啓	ビデオ通話システムの普及・活用による 保護者支援に関する地域格差解消プロ ジェクト	2,000
NPO法人科学技術教育ネットワーク 理事 中島 晃芳	eラーニングで広がるロボット・プログラミ ング教育	2,000
2件		4,000 千円

平成29年度 シンポジウム・セミナー等開催援助(社会)

申込者	会議、事業名	援助金額 (千円)
(一社)情報通信ネットワーク産業協会 専務理事 片山 泰祥	CIAJえくすぱーと・のれっじ・セミナー 平成30年4月～10月 10回	1,000
(一財)マルチメディア振興センター 理事長 坪内 和人	青少年インターネット利用環境整備法の改正を踏まえたe-ネットキャラバン講師向けセミナーの開催 平成30年4月～平成31年2月12回開催	1,000
(一社)日本スマートフォンセキュリティ協会 会長 安田 浩	JSSEC技術部会セミナー 平成30年7月9日	1,000
(一社)情報サービス産業協会 国際部 部長 河内 淳子	JISA / ASOCIO Digital Masters Summit 2018 平成30年11月7日～8日	1,200
日本教育工学協会 会長 野中 陽一 (横浜国立大学大学院教育学研究科高度教育実践専攻長・教授)	全日本教育工学研究協議会 全国大会 平成30年11月9日	1,000

5 件 5,200 千円

平成29年度11月募集 シンポジウム・セミナー等開催援助(学術)

申込者	会議、事業名	援助金額 (千円)
ICMR 2018実行委員会 佐藤 真一 (国立情報学研究所 教授)	マルチメディア検索に関する国際会議 (ICMR) 平成30年6月11日～6月14日	1,500
ROSENET実行委員会 実行委員長 陸 慧敏 (九州工業大学 助教)	第2回ロボティク・センサネットワークに関する国際会議 平成30年8月25日～8月26日	1,000
2018年電磁界に関するIEEEワークショップ実行委員会 実行委員長 菊間 信良 (名古屋工業大学 教授)	電磁界に関するIEEEワークショップ(応用と学生イノベーションコンペ) (IEEE iWEM 2018) 平成30年8月29日～8月31日	500
MICRO 2018組織委員会 組織委員長 井上 弘士 (九州大学 教授)	第51回 IEEE / ACM マイクロアーキテクチャに関する国際会議 (MICRO-51) 平成30年10月20日～10月24日	1,000
2018年窒化物半導体国際ワークショップ実行委員会 川上 養一 (京都大学大学院 教授)	2018年窒化物半導体国際ワークショップ 平成30年11月11日～11月16日	1,500
ISPACS 2018 実行委員会 委員長 尾知 博 (九州工業大学大学院)	2018年知的信号処理と通信システムに関する国際シンポジウム (ISPACS 2018) 平成30年11月27日～11月30日	1,000
第41回情報理論とその応用シンポジウム実行委員会 古賀 弘樹 (筑波大学 教授)	第41回情報理論とその応用シンポジウム (SITA 2018) 平成30年12月19日～12月22日	1,000
第17回パーベイシブコンピューティングとコミュニケーションに関する国際会議2019組織委員会 委員長 安本 慶一 (奈良先端科学技術大学院大学 教授)	「第17回パーベイシブコンピューティングとコミュニケーションに関する国際会議2019」の国内(京都)開催 (IEEE PerCom) 平成31年3月11日～3月15日	823

8 件 8,323 千円

平成29年度採択 平成30年度開講 特別講義開設援助

区分	大学名	特別講義名 (開講時期)	援助金額 (千円)
新規	神奈川工科大学	IoTと知能情報処理特論 平成30年4月～平成30年8月	1,011
新規	千葉大学	情報セキュリティ分析(入門・実践) 平成30年6月～平成30年9月	1,397
継続	筑波大学	ICTとビジネスシステムリスク特別講義および ビジネスシステムリスク特別演習 平成30年7月～平成31年2月	390
継続	信州大学	情報通信技術の発展と法制度 平成30年4月～平成30年9月	1,026
継続	情報セキュリティ大学院大学	サイバー・インテリジェンス 平成30年9月～平成31年3月	964
継続	摂南大学	IoT時代の経営情報学 - 情報社会における 「まち」、「学校」、「企業」、「安全」を実現する 新しい経営への挑戦 平成30年9月～平成31年1月	354
継続	大阪大学	高度情報通信社会における知的財産戦略論 平成30年9月～平成31年1月	1,000

採択件数 7件 6,142 千円